太平洋の嵐
2

―ゲーム進行の手引き―

目　次

戦争初期の戦略と戦争に勝つポイントを説明します。

1．第1ターンに取るべき行動

ゲーム時間を進める「進行」ボタンを押す前にそのターンで行う行動をあらかじめ指示しておく必要があります。とくに第1ターンの行動は重要ですので初心者の方のためにその一例を書きます。

1)南雲艦隊よりハワイを爆撃

ハワイに接近している南雲艦隊に真珠湾攻撃を行わせます。爆撃目標は在泊艦船が良いでしょう。第1ターンは敵からの爆撃がありませんが次のターンからは攻撃されますので、南雲艦隊を退避させる指示を出しておきましょう。移動先は日本に帰って艦隊を再編成するなら呉、太平洋にとどまって前線の根拠地を攻撃するならクェゼリンが良いです。

2)タカオよりマニラを爆撃

マニラには敵潜水艦が数隻停泊しています。これらを出港させてしまうと、南方での艦隊の運用時に被害を受けますので、今のうちに爆撃しておきます。

3)サイゴンとサンジャックの部隊による爆撃

サイゴンには陸軍、サンジャックには海軍の航空部隊が展開しています。それらの部隊でバンコクの戦闘部隊、シンゴラ、ペナンの飛行場を爆撃させましょう。陸海軍の2つの根拠地に分かれている航空隊を、バンコクにまとめて集中運用するのも被害を減らす上で効果があります。

4)他の艦隊の移動

マップ上のまだ指示していない艦隊を移動させます。小澤、近藤艦隊はそれぞれシンゴラ、バギオの攻撃に向かわせましょう。他の艦隊は手近な根拠地に入港させておきましょう。

5)航空機の生産の指示

ゲーム開始時は航空機の生産が指示されていませんので「航空機」のコマンドで指示します。海軍の戦闘機は「零戦21型」、爆撃機は航続距離の長い「96式中攻23型」が良いでしょう。陸軍では戦闘機の生産せずに重爆撃機の「呑竜」を生産するのが良いと思います。

6)艦船の建造の指示

開いているドックで艦船を建造させます。規模の大きい艦はゲーム後半に作り始めても完成しませんから、初めのうちから計画的に建造しましょう。搭載機の少ない軽空母を改装してしまうのも良いです。

長崎では商船しか建造できないので不足気味の高速輸送船を中心に各クラス生産させます。

7)ソ連国境付近の部隊と航空機の引き上げ

すぐにソ連との戦争に入ることはありませんから、ソ連国境付近の根拠地にいる陸上部隊と航空機を南方に移動させます。そのときに戦闘部隊を引き抜きすぎるとソ連に宣戦布告されてしまうので、戦闘部隊を30大隊程度は残しておきましょう。航空部隊への指示はその根拠地に着陸しなければ何度でも出せますので1ターンの内に繰り返し指示して早く移動させましょう。

8)国内の部隊の整理

国内に点在する戦闘部隊と航空部隊を集中して運用しやすくしてしまいましょう。戦闘部隊は東京と呉に集中させてしまいましょう。旧式の航空機も多く配備されていますが、それらは「航空機廃棄」で鉄とアルミにしてしまって、搭乗員は名古屋と前橋に集めてしまいましょう。

9)輸送路の整備

ナンキン、ブシュン、ソウルで産出される石炭、ペキン、アンザンで産出される鉄鉱石をプサンに運ぶ輸送路を設定します。プサンから八幡へは輸送船の輸送航路を設定して八幡で自動で鉄が生産されるようにします。

国内でも札幌の石炭を室蘭へ、前橋のボーキサイトを新潟へ、新潟の原油を東京へ運ぶ輸送路を設定しておくと良いでしょう。

10)科学技術の設定

研究する科学技術を設定します。これは1ポイントしか設定できないので、ゲーム中を通して1つの技術だけを研究する方がよいでしょう。早期決着を目指すならレーダーに設定しておくのが良いと思います。

これらの指示を出し終わったら1ターン進行のボタンを押してください。指示した攻撃が順に行われます。次のターンからは以下を参考にゲームを進めてください。

2. その後の戦略

1)シンゴウの攻略

日本根拠地に囲まれたシンゴウは非常に邪魔な存在です。このままほうっておくと要塞化してしまいますので、その前に占領してしまう必要があります。北方から集めた航空部隊をペキンに集合させて爆撃するか、陸戦時に攻撃側が有利になる霧の時に攻撃して占領してしまいましょう。

2)ホンコンの攻略

ホンコンには敵の大部隊はいないのですが、ここも時間を置くと邪魔になりますので早いうちに占領してしまいましょう。タカオから数回爆撃して、戦闘部隊を全滅させてから戦闘部隊1大隊で占領してしまいましょう。

3)フィリピンの攻略

タカオよりバギオ、マニラを爆撃して戦闘部隊を全滅させてから上陸部隊を編成して占領します。その後、他の根拠地も順に占領していきます。

4)グァムの攻略

日本根拠地の中にぽつんとあるアメリカの根拠地グァム。たいした抵抗はありませんので、上陸戦の練習のつもりで占領してください。

5)南方資源の確保

パレンバンの原油、リンガのボーキサイトは長期間戦争を続ける上で非常に重要な資源です。これらの根拠地と周辺の根拠地も占領して、本土に資源を輸送できる体制を作ってしまいましょう。

3．ゲーム攻略のヒント

ここではゲームの進める上で知っておくと良いことを説明します。

1)無駄な生産はしない

日本の限られた資源を有効に活用するポイントを説明します。

まず陸軍の軽爆撃機は性能が中途半端なので使用する必要がありません。重爆撃機のみで十分に戦うことができます。

長崎のすべてのドックで商船を建造すると1ターンで8000トンの鉄を使用します。これだけの鉄は序盤ではなかなか確保できないので、すべてのドックを使用しないでゲームが進んで余裕ができてから建造するようにしましょう。

2)東京と大阪では鉄を欠かさないように

5ターンに1度の陸上部隊の生産の時に、東京では整備部隊、大阪では設営部隊が生産されます。これ以外の根拠地では生産されないのでゲームの序盤のうちは鉄を欠かさないようにしてください。

3)航空部隊は集中運用

年に2度しか生産されない搭乗員は非常に貴重な存在です。そのため航空機（特に爆撃機）は極力被害を受けないように運用しなければなりません。少数の爆撃機で爆撃を繰り返すと対空砲火などでどんどんと消耗してしまいます。なるべく大部隊を編成して、できることなら被弾確率が『0』になるようにしてから爆撃しましょう。飛行場などを爆撃された場合も、迎撃の出撃率が低い時は迎撃しないで搭乗員の消耗を防ぎましょう。敵の重爆撃機は命中率の低い機体が多いので、飛行場を爆撃されても、こちらの機体の受ける被害はあまり多くなりません。

4)前線に航空機をためる

地上の根拠地の航空機には可動率が設定されていて、搭乗員と機体数が同じでは搭乗員が余ってしまいます。そのために前線の根拠地にはなるべく多くの機体を集めなければなりません。国内の航空機工場から飛び立ち前線の根拠地に到着した搭乗員は、飛行艇や輸送機ですぐに国内に戻してまた航空機の輸送に使用しましょう。

5)どの出現根拠地を取るか？

このゲームでは敵の出現根拠地を５つ取ると連合軍から降伏を申し出てきます。では、どこの根拠地を目指すのが良いのでしょうか？

セイトは序盤で攻略することができます。ただし敵の戦闘部隊は非常に強力ですので、こちらの戦闘部隊の被害を抑えるには爆撃機を集中運用して徹底的に爆撃する必要があります。

インド方面の根拠地のマドラスとアッズは比較的攻略しやすい根拠地です。陸上の根拠地から爆撃機を飛ばして爆撃して占領しましょう。

オーストラリアの２つの出現根拠地、ポートダーウィンとタウンスビルも比較的攻略しやすい根拠地です。しかし、時間をおくと周辺の根拠地と共に要塞化してしまいますので、序盤のうちに切り崩す必要があります。

太平洋のニューカレドニア、サモア、ハワイは空母艦隊と島からの爆撃機の攻撃を組み合わせれば取ることも可能です。オーストラリアの根拠地に近づけなくなった場合はこちらの方を攻略しましょう。ダッチハーバーは距離が遠いことと天候が不順気味なのでおすすめできません。

ソ連のイルクーツクは、まずソ連に戦争をしかけるという時点でかなり厳しいものがあります。敵の航空部隊は強力ではありませんが、要塞化した根拠地に立てこもる戦闘部隊はなかなか突破できるものではありません。こちらの航空機も悪天候で行動できない場合が多いです。

GAM終戦50周年記念プレゼントキャンペーンのご案内

平素は弊社製品をご愛用いただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、終戦50周年を記念いたしまして「GAM終戦50周年記プレゼントキャンペーン」を実施することになりました。当社の本製品「太平洋の嵐2」をお買い上げになり、付属のユーザー登録ハガキを1995年12月末日までにお送りいただいた方に、抽選で1000名様に「太平洋の嵐2」オリジナル兵器集（仮称）をプレゼントさせていただきます。

[対称／締切]　最終期限までに本製品付属ユーザー登録ハガキを送っていただいた方を対称とします。
最終期限は1995年12月末日です（当日消印有効）。

[当選／発送]　当選はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
プレゼントの発送については、準備に多少の時間がかかりますので、発送は締切後、10日ほど後になります。